

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	14121	電話	042-769-8281
担当部課名	管理部	学校施設	課	計画 班
事務事業名	夢の丘小学校校舎等購入事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	14年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

地方自治法、学校教育法
-------------

## 3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	国庫補助事業	なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
麻溝方面の児童数の増加に対処するため、分離新設小学校(夢の丘小学校)の建設を都市整備公社の立替施行により行った(平成12年度～平成13年度建設)ものについて買戻すもの。		夢の丘小学校の児童及び教職員	
		対象数	581人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
総事業費 2,554,501千円			
・校舎 2,074,722千円(工事実施面積 8,335㎡)			
・屋内運動場 402,630千円(工事実施面積 1,543㎡)			
・給食室 77,149千円(工事実施面積 375㎡)			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

				15,16年度は目標値				
	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	分離新設校による学校適正規模の確保率(麻溝地区)	分離新設した学校数/学区再編成による適正規模の確保ができない学校数×100＝	分離新設校の建設にて適正規模を確保することで、より良い教育環境を実現する。	12	13	14	15	16
				0	0	100	100	100
活動指標	買戻し実施率	買戻した面積/立替施行により建設した面積×100＝	立替施行により建設した学校の買戻し進捗状況を把握する。	0	0	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

						〔金額単位：千円〕	
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)	
事業費	決算(予算)額			2,554,501			
	人員・時間数			120日			
	人件費			3,869			
	その他経費			31			
	合計	0	0	2,558,401	0	0	
特定財源				2,325,499			
対象数				581			
対象の単位あたり経費		#DIV/0!	#DIV/0!	4,403.4	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	麻溝地区における児童数の増加に対処して適正規模を確保するよう分離新設校を建設し、都市整備公社からの買戻しも完了した。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 麻溝地区の学校規模の適正化を図るために必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	学校規模の適正化を図ることは、教育環境の充実という面からも有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 結果的に国の第2次補正により購入できたことで、国庫負担金の基準額、起債の充当率の引き上げ等特定財源における多大なる優遇を受けることができた。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	母体校となる麻溝小学校について、新設校との格差が生じていることは否めない。この格差解消の必要性から早急に母体校整備の実施が必要と考える。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 事業として完了したため。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		近年、立替施行による分離新設校の建設はほとんど例がなくなっていて比較ができないが、直接施行では国の第2次補正にエントリーすることはできないことから、少なくとも直接施行により建設を行っている自治体より有利な条件(補助金算定上の基準単価、起債充当率の引き上げ等)で購入している。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 夢の丘小学校については、校舎、屋内運動場、給食室のすべてについて購入を完了したため。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--